

【施設状況】

グループ名称	少年科学センター								
指定管理者名	株式会社オーエンス					法人番号	5010001039404		
所管課	主	603200	家庭・地域学びの課	副					
構成施設	3323	少年科学センター							
施設分類	01	企画型	施設利用者圏域	02	広域施設	利用制適用区分	03	一部利用料金制	
施設概要	第1展示室、第2展示室、冒険広場、夢の劇場、実験工作室、休憩室、学習室、幼児の広場、事務室、会議室								
施設設置目的	自然科学及び近代科学技術に関する資料を収集・展示し、子どもたちの科学に対する知識の芽を養い、いつも新鮮なおどろきと楽しい雰囲気によって、潜在的興味を喚起できる施設として、科学に対する知識の啓発及び向上を図る。								
基本方針等	科学実験・科学工作教室の開催等、指定管理者の創意工夫に基づいた管理運営により、質の高いサービスを利用者に提供するとともに、青少年の科学に対する潜在的な興味を喚起することを目指す。								
主な実施事業	<ul style="list-style-type: none">・センターの入館の受付等に関する業務・センターの施設及び設備の維持管理に関する業務・センターの効用を増加させる自主事業に関する業務								

【項目評価基準表】

評価	評価基準
5 (優れている)	協定、実施計画に基づく管理運営や事業の実施が期待以上で、指定管理者のノウハウや努力等によるところが特に大きい
4 (良い)	協定、実施計画に基づく管理運営や事業の実施が期待以上
3 (普通)	協定、計画が予定どおり実施された
2 (劣る)	<ul style="list-style-type: none">・協定、計画の一部が予定どおり実施されない・管理運営の一部において、市の指導が必要
1 (悪い)	<ul style="list-style-type: none">・協定、計画が全て実施されない・管理運営の全てにおいて、市の指導が必要・市の指導を受けてもなお、全く改善が図られない

【評価項目】

1 指定管理者の健全性

指定管理者名	株式会社オーエンス			指定回数	3 回	
指定期間	平成24年4月1日	～	平成29年3月31日	5年	管理運営開始日	平成18年4月1日
指定管理者の健全性	施設の設置目的や市が示した基本方針、また、自ら提案した内容に沿った管理運営であったか。また、団体の財務状況や組織体制は、管理運営実績のある他施設での管理運営状況も踏まえ、良好で、健全か。					評価
	特記事項 (問題等があった場合に、その内容等を記入)					

施設利用状況 (利用者数、件数、稼働率など)		利用区分等	単位	H25	H26	H27	H28	対前年比	評価
		幼児	人	30,805	31,452	32,420	31,942	99%	4
		小・中学生	人	28,939	29,943	28,154	28,281	100%	
		高校生	人	529	753	750	815	109%	
		一般	人	43,752	44,825	45,994	46,276	101%	
		計	人	104,025	106,973	107,318	107,314	100%	
								#DIV/0!	
								#DIV/0!	
(特記事項) ・本年度で6年連続、年間入館者数10万人を達成した。 ・時機に応じた特別イベントを開催した。(4月「300万人達成セレモニー」、2月「準天頂衛星みちびきカウントダウン」、3月「可視光レーザーガイドシステム贈呈式」等)									
事業実施内容	区分	協定内容・指定管理者提案			追加事業、未実施事業及び未実施の理由				
	市指定事業	・センターの入館の受付等に関する業務 ・センターの施設及び設備の維持管理に関する業務			・市や近隣大学・企業、他県科学館の協力のもと、展示物の入れ替えや備品の更新を実施した。 【新規展示物】8点 スーパーコンピュータ京 他 【備品】5点 ゆめの劇場プロジェクター本体およびレンズ交換 他				
	自主事業	・特別イベント・プログラム ・かんたん工作教室(旧・ワークショップ) ・チャレンジ工作・プレミアム工作(旧・楽しい実験工作教室) ・サイエンスショー：毎週土・日曜、祝日、春・夏・冬季休暇期間開催 ・映画上映 ・アウトリーチ事業 ・ミニミュージアムショップの設置			<追加事業> ・わくわくカガクあそび ・知っとく！サイエンス				
サービス維持・向上の取組み(広報等)	・新規展示物を導入した際には、ホームページを活用して、情報発信した。 ・マスコミによる取材や番組出演等を積極的に受けた。 ・ブログを運用し、より最新の情報を発信できるようにした。 ・自主事業の情報は、広報ながの、週刊長野、子育て情報誌等を活用し、お知らせを随時掲載した。								

3 利用者評価

区分	内容	評価
利用者評価	(1) 利用者要望把握方法 利用者アンケート	3
	(2) 調査、会議等の内容 ・館内アンケートボックス、教室参加者向けのアンケート、特別企画の参加者向けアンケート、ホームページのお問い合わせフォームにおいて実施 ・利用者満足度調査(外部モニタリング)を実施し、外部専門機関に調査分析を委託し実施 調査対象：来場者無作為に配布 回答者：322人 調査方法：施設での回収 調査期間：平成28年10月24日(月)～11月20日(日) 28日間	
利用者からの評価・苦情等	(3) 調査、会議等の結果 ・属性 男性：38.0%、女性62.0%(以下、無回答除く) 近隣地区(城山・城東・湯谷・賀加茂地区)在住：59.8%、 長野市内在住5.0%、長野市外在住：25.2%、長野県外：10.0% ・各項目における「満足」「やや満足」と回答した利用者の満足度を見てみると、スタッフについては97.9%、催し物の内容については93.3%の満足度を得られているが、催し物に参加したことがあると回答した人は46.5%と半数以下であった。総合的な評価としては、95.8%の満足度であった。	
	(1) 良好とする評価 ・素晴らしい子どもたちの遊び場、新しいものは別に取り入れなくてもいいのでずっと残してください。 ・入館料は150円で良いと思います。飲食スペースがあるのはかなり良いです。ありがとうございました。 ・20年ぶりに来館しました。懐かしい物もあり少し感動しました。前は親と来ましたが、今度は子どもと来られてよかったです。末永く続けてください。 ・自分が小さい頃から来ている場所です。子どもたちにも母親が楽しく科学を学んだ場所を知って欲しくて連れて来ました。科学に興味を持ってくれる場所であり続けて欲しいと思います。	
	(2) 苦情・改善等の要望事項 ・故障展示物の復旧、新規展示物の導入、展示装置の更新 等(30件) ・駐車場への要望(2件) ・年間パスポート・回数券の導入(2件)	
	<<対応措置>> ・市内外における企業や学校、他科学館との交渉を行い、新規の展示物を導入した。 ・稼働しない展示物がないように、故障した場合は、職員または業者により迅速に修理を実施した。	

事業収支 (単位：円)	指定管理者収支（平成28年度）				市の収支				評価
	年度計画額		収支実績額		平成28年度決算		平成27年度決算（前年度）		
	項目	金額	項目	金額	項目	金額	項目	金額	
収入	利用料金	10,000,000	利用料金	11,336,760	歳入	使用料	789,760	使用料	789,760
	指定管理料	32,450,000	指定管理料	32,450,000		雑（納付金）		雑（納付金）	
支出	委託料		委託料		歳出	行政財産目的外使用料	30,404	行政財産目的外使用料	27,967
	販売収入等		販売収入等			その他	65,129	その他	73,590
	その他収入		その他収入						
	計	42,450,000	計	43,786,760		計	885,293	計	891,317
収入	人件費	24,984,000	人件費	24,121,659	歳入	指定管理料	32,450,000	指定管理料	31,835,000
	設備管理費	6,346,500	設備管理費	6,115,024		委託料	814,200	委託料	1,834,920
支出	備品購入費	150,000	備品購入費	330,060	歳出	需用費	9,957	需用費	
	修繕費	950,000	修繕費	1,718,558		役務費		役務費	
	光熱水費	6,830,000	光熱水費	7,009,095		使用料・賃借料	1,515,714	使用料・賃借料	1,505,724
	事業費	2,594,500	事業費	2,124,968		修繕費		修繕費	
	事務経費	595,000	事務経費	624,662		工事請負費	466,560	工事請負費	
	本社経費		本社経費			備品購入費	733,320	備品購入費	
	その他		その他			その他		その他	
	計	42,450,000	計	42,044,026		計	35,989,751	計	35,175,644
自主事業	収入	3,194,700	収入	2,195,425					
	支出	3,194,700	支出	2,446,045					
	自主事業損益	0	自主事業損益	-250,620					
損益		0		1,492,114	差引		-35,104,458		-34,284,327
人件費比率【人件費（賃金等）／平成28年度指定管理者事業支出】（支出に占める人件費の割合）									57.4%
本社経費が、計画額と実績額で異なる理由									

5 管理運営全般 ※すべて で、「3」。「4」「5」とする場合は、評価理由欄に理由を記載してください。

区分	確認内容	チェック欄	評価
職員配置	1 施設管理運営に必要な人員が、適正で有効に配置されているか	<input checked="" type="checkbox"/>	3
	配置実績 (うち市内雇用職員数) 館長1名(常勤)、館長補佐1名(常勤)、指導スタッフ5名(常勤4名、非常勤1名)、受付事務スタッフ3名(常勤1名、非常勤2名)、施設管理スタッフ1名(非常勤) 計11名(地元雇用:11名)		
	2 専門性を備えた職員、有資格者が必要に応じて配置されているか		
	3 労働関係法令を遵守し、職員の適正な労働条件を確保しているか		
平等利用	4 職員の資質・能力向上を図り、施設を適切に運営するための取組みや研修がなされたか	<input checked="" type="checkbox"/>	3
	1 特定の団体や個人に偏らない、公平・公正な、透明性の高い運営がなされたか		
経理	2 使用許可、減免等の事務手続きが適切に行われたか	<input checked="" type="checkbox"/>	3
	1 施設の管理運営に係る収支の内容や、指定管理料、利用料金等の取扱いは適切に行われたか		
施設・備品の維持管理	2 収支内容等を記載した帳簿を整備しているか	<input checked="" type="checkbox"/>	3
	1 必要とされている保守、点検、清掃、保安、警備等、必要な維持管理業務が確実に実行されたか		
セルフモニタリング等	2 備品はI種、II種を明確にし、それぞれ台帳、目録等を整備の上、管理が適正に行われたか	<input checked="" type="checkbox"/>	3
	1 日常的、定期的に業務の点検、監視が行われたか		
	2 事業計画・報告書、予算書・決算書や、施設の利用状況などの定期報告、点検・検査結果報告などが遅滞なく提出されたか	<input checked="" type="checkbox"/>	3

区分	確認内容	チェック欄	評価	
危機管理体制	1 危機管理マニュアルなどが整備されているか	<input checked="" type="checkbox"/>	3	
	2 危機管理マニュアルなどの内容が職員に周知されているか			
	3 常に、日常の事故防止などに注意を払っているか			
	個人情報保護 1 施設の利用者の個人情報を保護するための対策が適切であったか	<input checked="" type="checkbox"/>		
	防犯、防災対策	1 防犯、防火などの対策、体制が適切であったか		<input checked="" type="checkbox"/>
		2 防災訓練など、必要な訓練が実施されたか		<input checked="" type="checkbox"/>
緊急時対応、体制	1 事故発生時や非常災害時の対応などが適切であったか	<input checked="" type="checkbox"/>		
	2 必要な保険に加入するなど、利用者などからの損害賠償請求への対応措置が講じられているか			

7 地域連携

地域連携	評価
<p>地域の声を聞く体制や、協働で地域貢献ができる運営であったか。市内雇用や市内事業者から物品を購入する等、地域を活用した管理運営であったか。障害者就労施設等からの物品及び役務の調達に努めたか。</p>	3
<p>協定内容・指定管理者提案</p> <ul style="list-style-type: none"> ・地域と連携した自主事業プログラムの開催 ・地元雇用の推進 ・地元事業者からの物品購入 ・アウトリーチ事業の推進 ・職場体験（地域活動学習）の受入 	
<p>追加された内容、未実施の内容及びその理由</p> <ul style="list-style-type: none"> ・学生ボランティアの受入（市ボランティアセンターと連携） 	

【総合評価】

評価項目	評価	得点	総合評価
指定管理者の健全性	3	6	<p>合計得点</p> <p style="font-size: 2em; text-align: center;">64</p>
施設の有効活用	4	16	
利用者評価	3	12	
事業収支	3	6	
管理運営全般	3	12	
危機管理体制	3	6	
地域連携	3	6	

評価理由

「2 施設の有効活用」の「施設利用状況」を見ると、幼児や児童を連れた家族での入館者が高水準を維持する傾向にあるが、幼児と保護者の親子向け事業の充実に努め、全体で対前年比、100.0%を維持した。結果として、平成23年度から6年連続で入館者10万人を超えていることから「施設の有効活用」は「4」とした。

取組み・改善案等
(施設所管課)

前年度からの課題	改善状況	改善案等（改善されていない場合）
<p>①多くの小中学生・高校生に興味を持ってもらえるようなイベント開催や展示の工夫をする。</p> <p>②故障中の展示物の修理、古い展示物の入れ替えにより、順次更新に努める。</p>	<p>①サイエンスショー・実験工作教室の出前教室を実施（24回）。来館者層の低年齢化により、幼児も参加しやすい教室を開催。</p> <p>②近隣大学・企業、他県科学館等の協力により、展示物の入れ替え（8点）と備品の更新（5点）。</p>	

次年度の目標・取組み等
(施設所管課)

幼児や児童を連れた家族の入館者数が大多数であるので、今後も引き続き、幼児・児童向けの科学等に関する事業の充実に努める。学校・企業等との連携・協力による展示物の更新や工作教室の開催に努め、利用者増に向けた魅力ある施設運営に取り組む。

指定管理者自己評価

B

(1) 今年度の取組みに対する評価

① サービス向上に向けての取組み

- ・大人向け講座も含め、幅広い年代に対応する各種教育普及プログラムを開催し、体験型事業を増やした。
(展示室内の開催、実験工作教室の定期開催、企画イベントの開催等)
- ・来館者層が低年齢化している状況を踏まえ、幼児も参加しやすい教室を開催した。
- ・アウトリーチ事業（出前サイエンスショー・出前実験工作教室）を24回実施した。
- ・積極的な広報活動（チラシ配布、ポスター掲示、ホームページ更新）により、施設の認知度向上に努めた。
- ・利用者満足度調査の実施によるニーズの把握と反映に努めた。
- ・休館日の削減（GW・夏・春期休業期間中の月曜及び第3金曜日、1月1日～3日の年始閉館）を実施した。
- ・地域出身の講師による講演会、教室など多分野にわたり開催した。
- ・当社指定管理施設である青少年錬成センターや関係団体、企業と連携しイベントを開催した。
- ・スタンプカードの運用により、リピーターが増加している。

② 業務の効率化に対する取組み

- ・適正な人員配置による人件費の縮減や、業務の相互補完体制を強化した。
- ・エネルギー管理の徹底に努めた。
- ・チラシ、広報物等の内製化による広告費の削減に努めた。
- ・施設管理スタッフの日常修繕実施により、小規模修繕費を削減した。
- ・製作、修繕、改修等を内部で行い、再委託を極力抑えた。

③ その他

- ・「ながの子育て支援カード事業」の協賛による、ミュージアムショップの割引（8%）を実施した。
- ・地域活動学習（2校、計9名）の受入れを実施した。
- ・長野県が実施するエコプログラムに参加し、環境に配慮しつつ認知度やサービスの向上を図った。
- ・近隣地区活動として、年2回、側溝清掃・草取り・ゴミ拾いに参加した。
- ・冒険広場内ボールプールと遊具・幼児の広場の消毒作業を毎週1回行い、衛生面を保つよう努めた。
- ・当社指定管理者施設の責任者会議に館長または館長補佐が出席し、他施設の事例発表や指定管理業務に関するディスカッションを通して、幅広く情報交換を行った。（年2回）

(2) 指定管理者業務実施上の課題

- ・施設設備・展示装置の修繕・入れ替えに関する利用者からの要望が多い。
- ・中学生以上の来館者に対する自主事業参加の促進が課題である。
- ・乳幼児用設備（授乳室など）の充実。

(3) 次年度以降の取組み

年間入館者数10万人を一つの目標とし、下記の取組みをはじめとした施設の求心性を高める事業展開に努める。

- ・各種企画事業の更なる充実と新企画の立上げ
- ・ワークショップ、実験工作教室及び特別工作教室等の開催
- ・地域学校・企業との連携強化
- ・市内他施設との連携、協働事業の開催
- ・アウトリーチ事業
- ・ボランティアの育成
- ・再入館許可制度の導入

【指定管理者自己評価基準】

A：計画や目標を上回る、B：計画や目標をやや上回る、C：計画や目標どおり、D：計画や目標をやや下回る、E：計画や目標を下回る